

平沢しじまとの夫婦の経緯（ポアリエ ヴィンセント）

2010年3月	出会い、その後デートを重ねる。
2010年5月	しじまが飲酒で酔った状態を始めて見る。しじまは、私（ポアリエ ヴィンセント）を罵倒し、暴力を振るう。
2010年6月	しじまが妊娠し、私が胎児の父であることが判る。
2010年9月11日	しじまの家族に会う。
2010年9月末	私たちは、結婚することに決め、しじまが私の家で同居を始める。
2010年10月28日	結婚する。
2011年2月9日	長女えみり（Emilie）誕生。
2011年3月11日	東北地方大震災の地震発生。しじまは、たいへんなショックを受ける。
2011年6月～7月	家族でカナダに帰省。しじまとえみりが私の家族に会う。
2011年8月	しじまが、隠れて飲酒を始める。
2011年9月	夫婦喧嘩が激しくなる。 注：この時まで、いわゆる普通の口喧嘩程度の口論はあった-父の日に激しい喧嘩をした他は、小さな口喧嘩は頻繁にあった。
2011年9月	ある日、帰宅すると家の中は真っ暗だった。しじまが娘をつれて出かけていると思った。しかし娘のえみりが床で眠っているのに気づいた。 （実際もう少しで踏んづけそうになった）妻を探したが姿が無かったが、浴室で酔って意識を失っているのを発見した。
2011年10～11月	夫婦喧嘩が激しくなり、しじまの飲酒もさらに悪化した。
2011年12月10日、午後10時～午前1時 （110番処理簿を参照のこと。）	a) しじまが極度に酔い、夫婦喧嘩となる。私が娘を抱いていたにも拘らず、しじまは私に繰り返し暴行し続けた。 b) しじまは、床に倒れ込み、激しく泣きわめく。 c) 私はしじまの姉に電話し、しじまに姉と話をさせた。 d) しじまは落ち着きを取り戻したが、電話を切ったとたんに、また暴力をふるい始める。 e) 私が、110番通報する。 f) しじまの姉が電話をかけてきて、すぐに来るとのこと。午後10時ぐらいだった。 g) 警官が到着。目白署だと思う。しじまの姉、あきつが夫と来ることを話し、二人を待つことになる。警官は、わめき散らしている妻をなだめていた。

	<p>h) あきつから電話があり、その電話を警官に代わってもらう。この時点で、私は妻をきたない俗語で呼んだ。実のところは良く覚えていない。しかし、とにかく大変動転していたことは覚えている。（警官が到着し、義姉がこちらに向かっていたので） やっと安心でき、ほっとして自分の怒りをぶつけられるようになったと思う。</p> <p>i) あきつが到着し、警官が帰った。</p> <p>j) あきつが、しじまとえみりを自分の家に連れて帰ると申し出、私はそれに同意した。そして皆が出て行った。</p>
2011年12月11日	夕方、しじまがえみりを連れて帰宅する。
2011年12月27日	しじまが、一泊の予定で実家に帰る。特に珍しいことではなかった。
2011年12月28日	朝、しじまから電話。家には戻ってこないとのこと。私は、自分の弟に電話した。
2011年12月30日	新宿のレストランで、しじま、しじまの姉夫婦しじまの父親に会う。基本的には、しじまとの別居（別れること）を告げられた。 <u>私には同意できないことであつたが、私にできることはなかった。</u>
2012年1月7日	両親に別居したことを知らせる。
2012年1月8日	親しい友人たちにメールを送り、しじまとの別居を伝える。しじまとえみりに、経堂駅近くのマクドナルドで1時間会う。このミーティングはうまく行った。
2012年1月15日	しじまとえみりと会う。この時はうまく行かなかった。私は、この別居は永久に続くという確証を得た。私は感情的になり、しじまと口論になった。この時は最悪の終わり方で別れた。（私は涙を隠せなかった。）私は2回目のeメールを書き、しじまの問題についての詳細を綴ったが、このメールは、bccでしじまだけに送信した。これらのeメールを添付する。
2012年1月28日	娘と6時間過ごす。
2012年2月9日	2011年12月10日に110通報した時の処理簿のコピーを請求。
2012年2月11日	しじまから、離婚したいので、3月16日に離婚調停を行うことになった旨の連絡が来る。
2012年2月22日	110番処理簿のコピーが用意できたという連絡を受け、自分で受け取りに行く予定を立てる。
2012年2月28日	<u>110番処理簿のコピーを受け取る。この処理簿には、2011年12月10日に、妻が酔っぱらって私にからんだ（暴行した）ことが、明確に記されている。</u>

2012年3月1日	えみりとの面会を依頼する。今回は、仲介者は入れずに、土曜日の朝から日曜日の夜までの週末にえみりに来て欲しい旨を伝えた。しじまは、『父親としての私の権利』を認めることに同意済みであるにも拘らず、私の依頼を拒絶した。
2012年3月16日	調停
2012年3月17日	離婚